

J R北海道における冬期の取り組みについて

J R北海道では、北海道の厳しい冬にもお客様に安心してご利用いただけるように、さまざまな取り組みを行っています。北海道新幹線と在来線における今冬期の取り組みについてお知らせします。

1 冬期の安全対策について

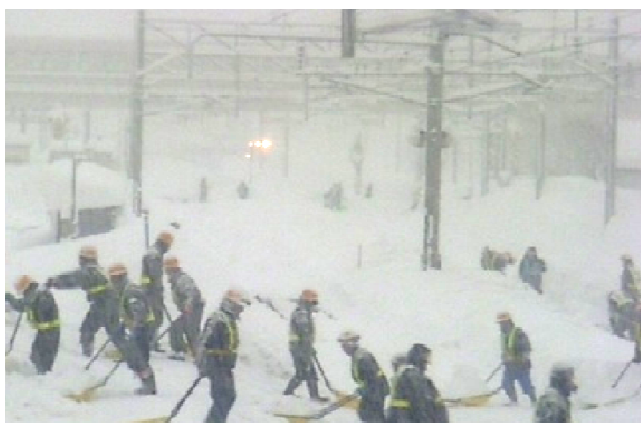
J R北海道は、北海道の厳しい気象条件のもとで、鉄道の安全を確保するために、各種の対策を行っています。きめこまかな線路の除排雪や車両への着雪対策を行わないと、列車脱線など大きな事故につながる可能性があるため、多くの人手をかけ除雪作業などを行い、安全の確保に取り組んでいます。

(1) 人力による除雪作業

降雪量も多く厳寒地でもある北海道では、機械設備による除雪作業などのほかに、人力によるさまざまな作業を行わなければ、冬期の安全な運行を確保できません。以下に主な取り組みを紹介します。

① 駅構内のポイント除雪作業

駅構内の線路上は排雪モーターロータリー等による機械除雪を行っていますが、ポイントには多くの機器があることから、手作業により細かく雪を取り除く必要があります。また、ポイント以外にも機械で除雪できない場所（ホーム・屋根上など）があることから、全道各地の駅構内では、一日あたり1,100人規模で除雪係員が昼夜を問わず除雪作業を行っています。



駅構内の除雪作業



夜間のポイント除雪作業

② 在来線踏切の除雪作業

冬期間は自動車の往来により、レールのフランジウェイ部（列車の車輪が通過する部分）が圧雪で埋まってしまい、これを放置すると通過する列車が氷雪に乗り上げて脱線する危険性があります。また、遮断機・警報機・注意柵などの周囲や自動車が通行できるように踏切道も除雪する必要があります。これらの作業も機械では行えないため、全道各地に点在する約1,450箇所※¹の在来線踏切において、除雪係員が昼夜を問わず手作業で除雪作業を行っています。

（※1 全道約1,650箇所の踏切うち約200箇所は冬期間使用停止）



踏切の除雪作業



除雪作業後

③ 車両に付着した雪氷の除去作業

列車は走行中に雪を舞い上げることから、車両の台車周りの機器に大量の雪が付着します。付着した雪や氷の塊が走行中に落下すると、地上設備の破損や、線路上のバラスト（砕石）に当たってバラストを周囲に飛ばす恐れがあるため、定期的に車庫の中で車両に付着した雪を融かす作業（融雪作業）を日々行っています。



車両の融雪作業

④ トンネル内のつらら落とし、結氷除去作業

トンネル内には周辺の地層から浸みだしてきた水が凍り、つららや氷ができます。つらは架線を傷めたり、走行する列車に接触すると運転席などの窓ガラスを破損させる恐れがあります。また、線路内に発生する氷が大きくなると、そこに車輪が乗り上げて脱線を引き起こす恐れもあります。そのため、電気・保線系統係員が昼夜を問わずトンネル内のつらら落としや結氷除去作業を行っています。



トンネル内のつらら落とし作業



トンネル内の結氷除去作業

(2) 北海道新幹線の車両着雪対策

上り列車（新函館北斗発 盛岡・仙台・東京行き）が、車両の台車周りに着雪したまま新青森以南の東北新幹線区間を高速走行すると、気温の上昇に伴って車両から雪が落ち、高速度で雪塊が飛散することで、沿線の建物や地上設備を損傷する恐れがあります。

このようなことを防ぐため、新函館北斗駅を出発する前に、車両基地で車両床下の融雪作業を行います。また、新函館北斗駅出発後に車両へなるべく雪を付着させないよう、予め線路上に残る雪を少なくするなど除雪を徹底する取り組みを行っています。

① 確認車による除雪

線路上の雪を取り除くため、毎日未明に走行する確認車に除雪装置を装着して除雪作業を行います。

この除雪装置でレール面下70mm（除雪幅2,890mm）まで除雪できます。



除雪装置を装着した確認車

② ブラシ式除雪装置による除雪

確認車の除雪装置で除雪後、さらに線路内に残る雪を少なくすることを目的に、レール面下100mm（除雪幅2,200mm）まで除雪できるブラシ式除雪装置を導入しています。



ブラシ式除雪装置



ブラシ式除雪装置(正面)

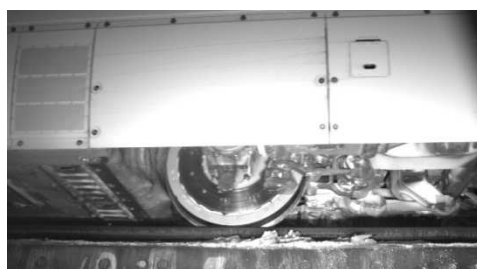
③ 新青森駅での車両着雪状況確認と雪落とし作業

新青森駅に到着した上り列車において、車両下部をカメラで撮影し、着雪状況を確認するとともに、台車周辺に付着した雪を人力により除去する作業を実施しています。

2017年度も各種着雪対策に取り組んだ結果、開業前のような大きな着雪はみられませんが、引き続き車両着雪対策を継続してその効果を確認していきます。



（開業前）



（2017年度）

新青森駅での着雪状況

2 安定輸送対策について

鉄道の特性である「一度に多くのお客様をお運びできる」・「時間に正確」な輸送サービスを冬期も維持するため、雪に覆われる地域特有の輸送障害を未然に防ぐ取り組みに力を注いでいます。

(1) 除雪機械の配備

線路上に積もった雪を除雪するため、ラッセル機関車の運転による除雪のほかに、以下の除雪機械を各地に配備して除排雪を実施しています。今年度は在来線用1台の取替と新幹線用1台の追加導入を行い、130台の除雪機械で効率的な除雪計画により安定輸送を確保していきます。



排雪モーターカー

モーターカーの先頭部にラッセル装置を取り付け、線路上の雪を脇へ押しのかます。

【配備数】

新幹線 4台（標準軌用2台、狭軌用2台）
在来線 51台（今年度1台取替）



ラッセルモーターカー等

排雪モーターカーの連結運転制御を可能とすることで、出力性能を向上しました。通常の排雪モーターカーより高速で仕業することが可能になっています。

【配備数】

在来線 4台



排雪モーターカーロータリー

排雪モーターカーにロータリー装置を取り付け、雪を掻き寄せて遠くへ飛ばします。駅構内はもちろん、駅間の除雪においても有効な除雪機械です。

【配備数】

新幹線 8台（標準軌用6台、狭軌用2台）
（今年度1台追加導入）
在来線 63台

雪捨車

トンネル区間以外では高架橋が続く北海道新幹線においては、雪捨車を4両配備して、定期的に排雪作業を行っています。



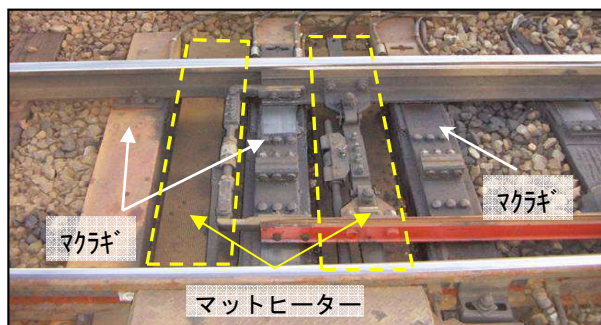
雪捨車への投雪

(2) ポイント不転換対策

「ポイント不転換」とは、列車の通過前もしくは通過後に進路を変更するためポイントを転換する際、氷塊や雪が介在することにより可動部が正常に動作せず、信号機が青にならない事象です。ポイント不転換が発生すると、係員による復旧作業を行う必要があり、復旧に時間を要してお客様へご迷惑をおかけすることから、以下の設備による不転換対策を講じています。

① ポイントマットヒーター

ポイントのマクラギ間で、特に雪が詰まることでポイントがきちんと動かなくなりやすい部分にマットヒーターを敷設し、ポイント部に堆積する雪や氷塊を溶かします。



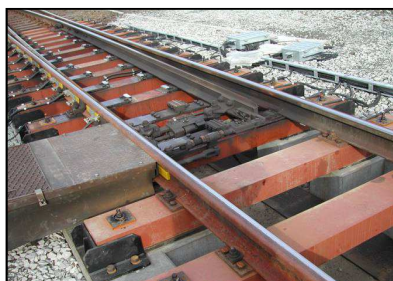
ポイントマットヒーター

【主な設置箇所】

(新幹線)
奥津軽いまべつ駅、湯の里知内信号場など 計15箇所
(在来線)
札幌駅、岩見沢駅、苗穂駅など 計236箇所
合計 251箇所

② ポイント融雪ピット

ポイント下部にコンクリートで箱型の空間(ピット)を設け、雪などを落とし込む構造にするとともに、ピットの底部に敷いたマットヒーターで融雪する設備です。



ポイント融雪ピット



ピット内での融雪状況

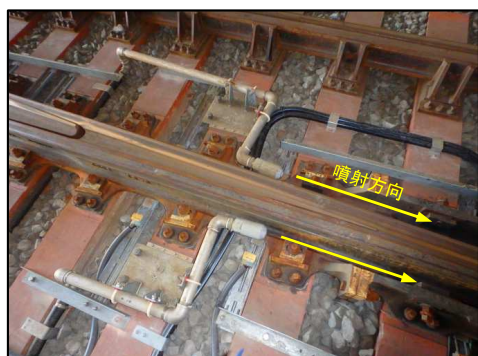
マットヒーターでピット内に
落ちた雪を融かします

【主な設置箇所】

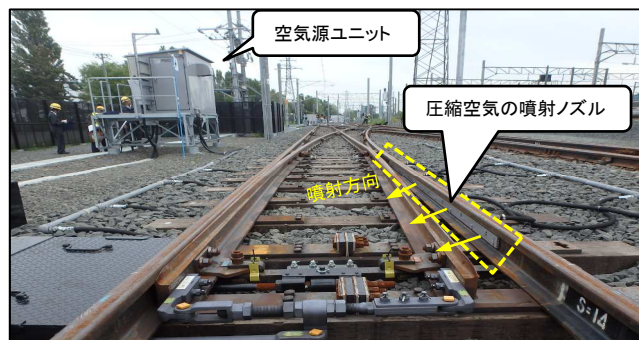
(新幹線)
新函館北斗駅、木古内駅、
奥津軽いまべつ駅 計16箇所
(在来線)
岩見沢駅、旭川駅、手稲駅、
札幌運転所など 計63箇所
合計 79箇所

③ 圧縮空気式除雪装置

ポイント転換時などに、圧縮した空気を吹き付けることで介在する氷塊等を吹き飛ばし、ポイント不転換を防止します。



クロッシング部後端噴射ノズル(新幹線)



圧縮空気式除雪装置

【主な設置箇所】

(新幹線)
新函館北斗駅、奥津軽いまべつ駅など 計47箇所
(在来線)
札幌駅、手稲駅、南千歳駅など 計100箇所
合計 147箇所

(3) 駅・駅間における吹きだまり対策

全道各地に防雪柵を設置して、暴風雪や地吹雪による線路上の吹きだまりを防止しています。



除雪機械から見た吹きだまりの様子



防雪柵の効果

【主な設置箇所】

函館線 江別駅～豊幌駅間
根室線 浜中駅～姉別駅間
宗谷線 抜海駅～南稚内駅間など
合計 延長78.0km

【2018年度新設箇所】

函館線 赤井川駅～駒ヶ岳駅間
滝川駅～江部乙駅間
根室線 新得駅～十勝清水駅間など
合計 延長1.6km

(4) 車輪踏面管理の徹底

車輪と制輪子（ブレーキパッド）が凍結で密着すると、車輪が回転せずに引きずられる状況が発生して、車輪踏面（レールに接する部分）が削られてキズが発生します。一定の大きさを超えるキズが発生してしまうと運転に使用できなくなるため、発生を最小限に抑えるため制輪子の凍結固着防止対策を行っています。

それでも発生してしまった車輪踏面のキズは、「在姿車輪旋盤装置」を使い削正します。この装置を札幌運転所（2台）、函館運輸所（1台）、釧路運輸車両所（1台）に配備しており、車両運用の安定化を図ります。



在姿車輪旋盤装置で車輪を削っている様子

3 悪天候時の輸送手配とお客様への情報提供について

当社ではさまざまな取り組みにより、安全で安定した輸送サービスの提供に努めていますが、これらの対策をとっても安全な運行が確保できないレベルの悪天候時などは、列車の運転を見合わせるるとともに、お客様への情報提供を積極的に進めてまいります。

(1) 荒天時等の運転計画について

過去に、救護できない場所で長時間列車を停車させてしまったことを踏まえ、再び同様のことを発生させないために、以下の取り組みを行います。

① 救護できない場所で長時間列車を停車させない取り組み

台風接近時並の荒天時など、人力や機械による除雪を行っても運行に支障する恐れがあり、線路状況の著しい悪化が予想される場合や、天候回復の目途がはっきりしない場合は、救護できない場所で長時間列車を停車させることのないよう、状況に応じて始発駅から運転を取りやめるなどします。

② 線路状況を踏まえた運転を計画

ポイント不転換が多発する場合などは、状況により駅構内の運転する線路を限定し、通常よりも本数を減らして運行します。

(2) 運休や遅れ情報のお客様への提供について

列車に運休や遅れが発生した場合は、お客様へ正確な状況を迅速にご案内するため、情報提供の強化に取り組みます。海外からのお客様へも、4言語（英語・簡体字・繁体字・韓国語）で、運休や遅れの情報を駅構内に掲示・放送して、情報の提供に努めます。

また、新千歳空港を発着する航空機の欠航や遅れの情報を表示するディスプレイが札幌駅西コンコースに設置されており、列車のご乗車前に航空機の運航状況をご確認いただけます。

① 駅ディスプレイ等の有効活用による情報提供の強化

駅ディスプレイ等を有効活用して、降雪状況、運行状況・運休列車等についてお客様に対する情報提供の強化を進めます。



改札口上部ディスプレイによる運行状況表示(札幌駅)

列車の遅れ・運休について Delay/Cancellation of Train
本日、大雪の影響により 札幌方面の列車に運休が発生しております。 ご迷惑をお掛けしておりますことをお詫び申し上げます。
Due to the Heavy snow the trains bound for Sapporo area have been cancelled. We apologize for causing you inconvenience.
今天，因为受到大雪的影响， 导致开往札幌方向的列车发生停驶的状况。 造成您的不便在此致歉。
今天，因為受到大雪的影響， 導致開往札幌方向的列車發生停駛的狀況。 造成您的不便在此致歉。
오늘 대설의 영향으로 인해, 삿포로 방면의 열차에 운휴가 발생하였습니다. 승객 여러분의 이용에 불편을 끼쳐 드려 대단히 죄송합니다.
函 館 駅 長 Station master of Hakodate

多言語による運転状況の駅頭掲示の例

② 「Kitacaエリア列車運転状況」のモニター公開

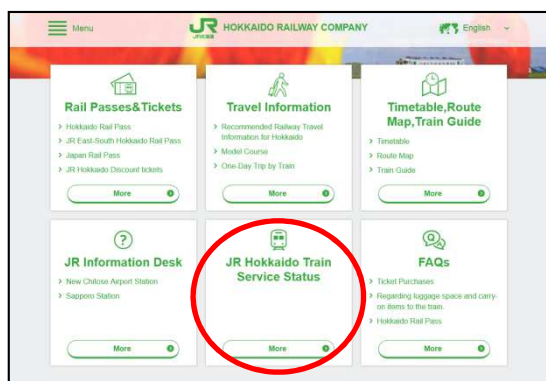
札幌圏のKitacaエリア54駅を対象に、「Kitacaエリア列車運転状況」をモニター公開しています。パソコン・スマートフォン・タブレット端末等で、列車ごとの運休情報や遅れの情報をタイムリーにご確認いただくことができます。（日本語と英語に対応しています）



JR北海道ホームページ

札幌駅			
お客に乗り降りから外す			
駅選択 札幌近郊路線図 ご利用ガイド			
運行情報 2018年12月10日18時53分現在 [最新の情報を表示]			
出発案内 到着案内			
▶新千歳線 [小樽方面へ] ▶新千歳線 [札幌方面へ] ▶千歳線 [千歳方面へ] ▶千歳線 [(快速) 新千歳空港へ] ▶千歳線 [(特急) 新千歳空港へ] ▶千歳線 [(特急) 新千歳空港へ]			
函館本線(小樽方面へ) ※5分以上の遅れを5分単位でご案内しています トップへ戻る			
列車名	発	行先	運行状況
区間 いしかりライナー (札幌～手稲間快速)	18:55	小樽行	通常運行
区間 普通	18:57	ほしみ行	列車遅延 約5～10分遅延(函館駅)
区間 普通	19:05	ほしみ行	通常運行
区間 エアポート185号	19:13	小樽行	通常運行
区間 いしかりライナー (江別～札幌間快速)	19:21	手稲行	出発前
区間 いしかりライナー (札幌～手稲間快速)	19:26	小樽行	出発前
区間 エアポート187号 (札幌～手稲間普通)	19:28	手稲行	通常運行

「Kitacaエリア列車運転状況」



JR北海道ホームページ(英語版)

Sapporo station			
Remove			
Select the station			
Service Status Last update at 18:52, Dec. 10, 2018 [Refresh]			
Departure Information Arrival Information			
▶Hokkaido Line [For Otaru] ▶Hokkaido Line [For Inawashiro] ▶Chitose Line [For Chitose] ▶Chitose Line [For New Chitose Airport (Rapid train)] ▶Gakuen-Tohri Line [For Ishikari-Tohri]			
Hokkaido Line(For Otaru) Top of Page			
Train name	Departure	Destination	Train Status
区間 Semi-Rapid Ishikari Liner	18:55	For Otaru	On schedule
区間 Local train	18:57	For Hoshimi	Delayed Delayed by about 5 - 10min
区間 Local train	19:05	For Hoshimi	On schedule
区間 Rapid Airport No.185	19:13	For Otaru	On schedule
区間 Semi-Rapid Ishikari Liner	19:21	For Teine	Not departed
区間 Semi-Rapid Ishikari Liner	19:26	For Otaru	Not departed

「Kitacaエリア列車運転状況」(英語)

<http://traininfo.jrhokkaido.co.jp/monitor/>

